

アルストロメリア新品種の特性と株管理

近年市販されたアルストロメリア新品種の、本県における品質及び収量等の特性を調査し、生産性・品質の優れる5品種を選定し、株の管理方法について明らかにしました。

要約

研究成果の概要

1. 背景・目的

アルストロメリアは夏季冷涼な気候に適合し、需要の多いことから本県の地域振興品目となっています。しかし、品種により生産性の差が大きく、種苗の購入経費も高いため、品種選定が重要な課題となっています。そのため優れた品種を選定しその栽培方法をまとめました。

2. 内容

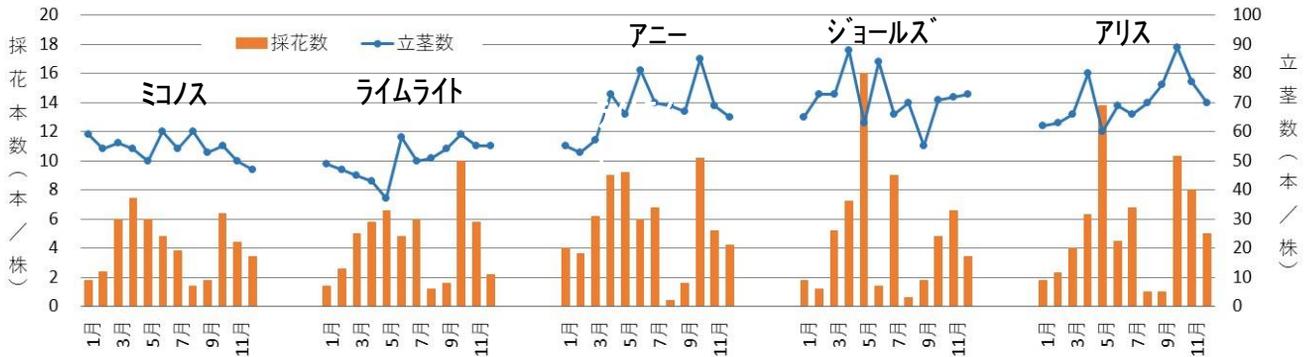
(1) 新品種の特性

品種名	花色	小花数 (個)	茎径 (mm)	2L・L割 合(%)	年間採花 本数(本/株)	高温・多照 後の異常
ミコノス	紫桃	6~7	7~8	90~95	45~50	少~中
ライムライト	黄	6~7	7~8	90~95	50~55	中
アニー	桃	4~5	7~8	90~95	60~65	甚
ジョールズ	桃	4~5	7~8	90~95	55~60	多
アリス	淡橙	6~7	7~8	90~95	60~65	中~多



(注) 年間採花本数は異常が発生した切り花を含まない。

(2) 新品種の採花期及び株の管理方法



- ・採花は周年で春・秋が多く夏にやや減少する。
- ・立茎数は適度に推移するが株を衰弱させないように適宜摘蕾する。
- ・採花は周年で春から秋を通じて変動が少ない。
- ・立茎数はやや少ないため、株を衰弱させないように過度の採花を行わず、適宜摘蕾する。
- ・採花は周年で春に集中するが秋にも切れる。
- ・立茎数は春・秋に多くなるので、過繁茂にならないよう、適宜葉芽の抜き取りを行う。
- ・採花は周年で春に集中し夏秋期は減少する。
- ・立茎数は特に春に多くなるので、過繁茂にならないよう、適宜葉芽の抜き取りを行う。
- ・採花は周年で春に集中するが秋にも多い。
- ・立茎数は春・秋に多くなるので、過繁茂にならないよう、適宜葉芽の抜き取りを行う。

3. 活用等

- ・アルストロメリアの品種を更新する際の判断基準になります。
- ・優良な品種の導入により、生産性の向上・所得確保が期待されます。

関連情報

- ・この試験は地中冷却を行っていません。
- ・定植2年目の令和5年は8月から9月上旬にかけての高温・多日照後に花卉や蕾等のヤケ・奇形が発生し、8月第3半旬から9月第2半旬まで採花できませんでした。